



編集 SEF 事務局
連絡先 080-8865-0951
URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば

担当理事 長本啓仕

コロナ禍が収束の兆しを見せず、新たに新株が発生する等コロナ禍は増々猛威を奮っている様に見えます。東京オリンピックは無事終わった様に思われるものの、GO TO T...、GO TO E...等の政府の誤ったと思われる政策が大きく影響していないかとさえ考えざるを得ません。僅も先行きの見透視が立たないのが現状ではないかと思われます。半面、企業を始めとして各組織では ZOOM 他オンラインによる活動が増々活発化している様に感じます。ただ、一見便利そうに見えるこのシステムもまた家から出られず、限られた空間で仕事をすると言う環境は精神的に不安定な要因になり兼ねないかも知れません。人間社会は何かと住みづらい世の中ですが、自然界はいつも通りの姿を見せています。寒椿、山茶花が最盛期を迎え、これからは山野に花が咲き誇る季節となります。また食べ物は美味しいものが多々出てきます。暗い世相ですが、せめて精神的には明るく過ごしたいものです。

1 月度理事会より (第 220 回 1 月 26 日)

事務局

1. 2022 年 2 月度会員交流会の開催	→可決承認	7. 生産工場 DX の件	→2 月度理事会以降に報告
2. SEF の秘密保持契約書案	→可決承認	8. 第 21 期(2022 年度)年間スケジュール	→報告了承
3. 業務支援事業関連の規定類の見直し	→可決承認	9. 業務支援事業部第 20 期 3Q 活動報告	→報告了承
4. 事務局総務業務委託費配分	→可決承認	10. 2021 年 11 月度・12 月度月次会計報告	→報告了承
5. 正会員の入会一日高武雄氏	→可決承認	11. 2021 年分支払調書の状況	→報告了承
6. 理事検討会議事録	→報告了承	12. 準会員の入会一谷崎守氏	→報告了承

事業報告 (業務支援事業部 G3・G4)

*文中 グループ=G、グループメンバー=GM

担当理事 佐立弘臣

昨年 10 月~11 月、新型コロナウイルスの感染が少し落ち着き面談方式の活動を始めましたがその後オミクロン株の感染者が増大し今迄のオンライン方式の活動に戻りました。このような中、十分な G 活動が出来ていませんが GM により業務支援事業部会(GS 会)で「今後の保全について」、「海外プロポーザル支援について」を発表し、他法人による「ICT/AI 技術、で変わる・変える上下水道の DX 事例」の講演が開催できました。

今期の部方針の一つ「会員間の交流活性化」として、GM が持つ技術、スキル、人脈などをメール、オンライン会議などで再確認しました。多くの GM から「グループがどのような活動を実施しているかわからない」との声があり、今年から「グループ活動報告」を毎月発行することとしました。ご意見、ご要望がありましたら担当理事までお寄せください。

今年、新たな「生産工場の DX」分野に挑戦しようと考えております。理事会承認の後、DX 経験者の指導の下、DX 事業を始めます。その時は DX 分野に挑戦したい方々は是非ご参加ください。

会員の活躍の場を一つでも多く「会員ファースト」の活動をしていきます。ご協力よろしくお願いします。

SEF サロン (第 120 回報告・第 121 回案内)

担当理事 白崎善宏

《 第 120 回報告 》

日時:2022 年 1 月 26 日(水)、15 時~16 時 30 分 Zoom 方式 講師:堀越繁 賛助会員 Emerson Automation Solutions
題目:「Digital Transformation- 計装メーカー実施例のご紹介」

最近話題の DX について主としてプロセス産業への適用について、実例を含めて示されました。センサー技術の進展を含めて、今後大きく進展していくことが期待されます。今回は非会員を含めて 30 数名の参加があり、DX への期待の大きさが感じられました。

《 第 121 回案内 》

日時:2022 年 3 月 16 日(水)、15 時~16 時 30 分 Zoom 方式 講師:坂西剛 国光施設工業株式会社 取締役会長
題目:「意思決定(with a decision tree)の理論とケース(仮)」

1 月度会員動向

事務局

会員の入退会

正会員入会 : 1 名 (日高武雄氏、ただし入会日は 2 月 1 日)
準会員入会 : 1 名 (谷崎守氏)

1 月末日現在の会員数

正会員 : 22 名 (2/1 入会の日高氏は含めず)、
準会員 : 41 名、 賛助会員 : 5 社+1 団体